

## 第5回 定例会

# 新議長に石田彬良議員が就任

## 平成20年度一般・特別会計決算(歳出138億3,735万円)を認定

平成21年第5回那珂川町議会定例会は9月8日に開会し、会期を15日までの8日間と定め、一般質問及び議案等の審議を行いました。

今期定例会において、小川洋一議長及び大金伊一議員より議員辞職願が提出されたことから、議員辞職の許可、議長選挙を行いました。

平成20年度各会計決算については、9日の本会議において議員全員による決算審査特別委員会を設置し、10日～15日にかけて細部にわたり審査を行い、最終日15日の本会議において一般会計及び8特別会計並びに水道事業決算を認定しました。

また、財政健全化法に基づく報告のほか、人権擁護委員、監査委員、教育委員の人事案件、馬頭東部3小学校統合に伴う学校設置条例改正などの町条例改正3件、緊急経済対策に伴う一般会計ほか4会計の補正予算、工事請負契約締結などの議案が提出され、原案のとおり可決しました。

そのほか、選挙管理委員の選挙、議員派遣、請願・陳情2件、議会構成議案等の審議を行いました。

今議会の一般質問には、7名の議員が登壇しました。

### 就任あいさつ



いしだあきら  
石田彬良議長

9月15日の第5回那珂川町議会定例会におきまして、議長辞任に伴い、議員各位のご推挙により第4代議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しています。

議会の役目は、町が執行する事務事業が適切に、しかも公平かつ効率的になされているかを監視することです。町総合振興計画や行財政改革推進計画に基づき、町民の皆様のために、よりよい町づくりができるよう、町と議会が努力していかなければなりません。

今夏に執行された衆議院議員総選挙の結果、政権が交代し、国の政策も今までは違った流れになってくるものと思われれます。当町

のように財源の多くを国・県の交付税や補助金で賄っている自治体にあつては、厳しい財政運営を強いられる可能性が高く、予断が許されない状況です。

那珂川町が誕生してから5年目に入りましたが、依然として少子高齢化の進行は止まらず、来春には東部地区の大内、谷川、大山地の3小学校が統合する予定であり、地域の中心となってきた学校が、また無くなる状況にあります。教育が終了した若年層が当町を離れていく残念な状況でもあり、町が存続していくためには、雇用の場の確保を真剣に考えていかなければなりません。

本年は、町内全域を対象としたケーブルテレビ高度化事業が完成し、今後、町民間の情報の共有化と福祉の向上に大きく寄与するものと期待しているところであり、町の振興のために議会として町民の皆様のご託にこたえられるよう、最善の努力をいたす所存ですので、皆様の尚一層のご指導、ご

鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

### 議会構成

#### ◆議員の辞職許可

定例会最終日に、小川洋一議長及び大金伊一議員より議員辞職願が提出されたことから、異議なく辞職を許可しました。

議員辞職に伴い、議員数が16名となりました。

#### ◆議長選挙

議長の欠員に伴い、定例会最終日に議長選挙を行い、石田彬良議員が議長に当選しました。

#### ◆議会運営委員の変更

議会運営委員会の構成を次のとおり変更しました。

委員長	川上 要一
副委員長	桑原 勇一
委員	岩村 文郎
	阿久津武之
	橋本 操
	杉本 益三